

女性進出 山は動いたのか

平成とは

プロローグ 4

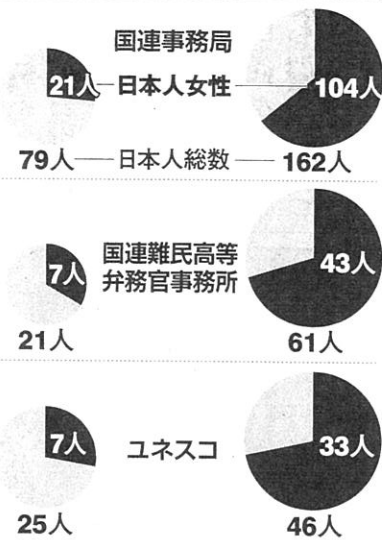
明治生まれの祖母は「女だから上の学校に行かせてもらえなかった」と言っていた。昭和一ケタの母は、戦後の学校で男女平等を習い、参政権を行使した。平成の女性と社会は、何が変わっただろう。

女性増えた国連「日本の裏返し」

この30年ほどで、女性比率がぐんと高くなった分野がある。国連で働く日本人のうち女性が占める割合は2割。外務省によると、全体で6割に。たとえば国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)では、7割を占めている。国連機関の場合、ポストが空けば公募して、性別、地域などの多様性に配慮しながら選考することが多い。ジェンダーバランスは正にも力を入れてきた。それでも組織任せでは男女半々が実現しないため、共通の行動計画を実施中だ。

主な国連機関の女性割合

1985年 外務省データから 2016年



国際連合 United Nations Women News Centre
国連広報センターの根本かおる所長

週4日勤務(給与は8割)を選ぶ職員もいたし、産休・育休中は臨時に別の人を雇える。長時間働く働きぶりではなく成果が求められる、別の厳しさがあつた。女性比率が高くなったのは「日本社会が男性を大切にしてきた裏返しではないか」と広瀬は見る。東京にある国連広報センター1所長の根本かおる(54)は、放送局記者時代に留学先で国連職員に接し、ネパールで難民支援の現場を見た衝撃から、96年UNHCRに転じた。職場は多様性のつぼ。「人間は同じではないことがスタートラインだった」日本の放送局時代は、行く先々で「紅一点」。多数派に合わせる同調圧力を感じたという。女性が多ければ違う結論だろうと思うことも言いにくかった。切り

男女半々の町議会で 改革進んだ

平成元年に参院の女性議員は初めて1割を超えた。2割を超えたのは昨年だ。もし30年で1割ずつアップするのなら、男女半々になるのにあと90年ほどかかることになる。衆院はさらに少ない。7月1日現在の世界の国会(下院)女性比率ランキングで、日本は9.3%で164位。最低は0人のカタールなどで190位だ。「男女の地位は平等になっていると思いますか」と7分野について聞いた内閣府の昨年の世論調査でも、平等だと思う人が最も少ないのが「政治の場」(18.9%)。最も多いのは「学校教育の場」で66.4%。東海大教授の大山七穂(59)は、「山が動いた」一選挙を見て、女性と政治を研究テーマに決めた。「なぜ女性議員を増やす必要があるのか」と問われるが、「女性の過少代表性」の問題があると言つ。世論調査を見ると男女で関心度が違う項目がある。どちらかといえば女性は医療、高齢者、子育て、物価などを、男性は行財政や外交を重視する。

「男性ばかりの議会で、男性は気がつきにくい問題が議題になりやすかったり、後回しにされたりする。女性議員が増えたら、それまで政治問題化されなかったことがまな板の上にあげられるようになる」平成の時代、女性が過半へそ曲がりゆえ、「女性の社会進出」という言葉を見ると、「社会って、どこ？」と考える。短い言葉で伝えるには仕方ないときがある。でも「企業で働く女性が増えた」ことを示すにすぎないような場合もある。社会は、女性も子どもも病人も、いろんな人がいる場所のはず。だからこそ、公の意思決定の場に、女性が一定割合いないと変だし、その場にはいない人たちのことを想像する力が、いる人には、求められる。進出を待つらしい「社会」の方を、ほんのりと、開いていきたい。

平成の女性の変化

文部科学省、厚生労働省、総務省のデータから ※のみ2015年

1989年 平成元年	→	2016年 平成28年
14.7%	大学(学部)進学率	48.2%
25.8歳	平均初婚年齢	29.4歳*
59.6%	25~29歳の労働力率	81.7%
60.2	女性の賃金(男性=100)	73.0
2448人	100歳以上の人口	5万7525人



社会って、どこ？

へそ曲がりゆえ、「女性の社会進出」という言葉を見ると、「社会って、どこ？」と考える。短い言葉で伝えるには仕方ないときがある。でも「企業で働く女性が増えた」ことを示すにすぎないような場合もある。社会は、女性も子どもも病人も、いろんな人がいる場所のはず。だからこそ、公の意思決定の場に、女性が一定割合いないと変だし、その場にはいない人たちのことを想像する力が、いる人には、求められる。進出を待つらしい「社会」の方を、ほんのりと、開いていきたい。

社会部 河原理子(56)